

輩～TOMOGARA～

令和5(2023)年度 明石市立大久保北中学校生徒指導通信 11月号

季節が変わる？変化の時代 ～まだまだ半そで？でももう11月！～

中間テストから始まった10月は文化祭もあり、あっという間に過ぎました。それぞれのクラスが歌楽反応を起こし、体育館に素敵な音色を響かせていました。一つの目標のために力を合わせる難しさと、その時だけじゃなく日々の積み重ねを大切にすること、様々な学びがあった取り組みでしたが、「今」の生活に活かされていますか。一人ひとり少しの心掛けがクラスを、学年を変え、自分を変えることができます、日楽反応を起こしていきましょう。

さて、11月に入りましたが、まだまだ夏日（最高気温が25度以上）が続き、異例の暑さでのスタートです。服の衣替えは10月が一般的ですが、11月1日から衣替えをするのが、新聞の天気図。夏は台風などを載せるために南側の太平洋を広めに、冬は北側からの寒気を載せるために中国大陸が広めに載っています。気になる人は新聞で見比べてみると、他にも発見があるかもしれませんよ。ただまだまだ夏日近い日が続くことで、冬服への衣替えが進みにくいですが、自分の体調に合わせて過ごしていきましょう。朝と昼で気温差が10度以上の日が増えそうです、上手に調節しましょう。

気温が高い日が続きますが、そこに「インフルエンザ」が猛威を振るっています。先述しましたが、「昨今の異常気象」これが関与している可能性があるみたいです。アジアの熱帯や亜熱帯地域では6～9月が雨期となり、インフルエンザが流行するみたいです。日本も亜熱帯に近い気候となっており、そこにインフルエンザへの免疫が低下していることが大きな要因となり、季節外れの流行につながっています。少しコロナ禍を思い出し、手洗い、うがいをきちんと行う習慣、教室の換気など基本的な感染症対策を再強化しましょう。

11月の月間目標

生活リズムを整えよう
ルールをきちんと守ろう

生活

朝はだんだんと寒くなり布団から出るのが億劫になってきますが、基本的な生活リズムが大切です。しっかり寝て、食べて、日の光をたっぷり浴びることで免疫力が高まります。毎日を明るく元気に！！

ルール

学校のルール（校則）も毎年少しずつ変化していきますが、きちんとルールを守る規範意識が大切です。守るからこそ、気付けることがあります。校則だけでなく、登下校など社会におけるルール・マナーもきちんと守りましょう。

がんばる木こり

昔々、一人の木こりが材木屋に仕事をもらいに行き、十分な条件での仕事だったので、木こりは引き受けることにした。

最初の日、木こりは親方から斧を一本手渡され、森の一部を割り当てられた。男はやる気満々で森に入り、1日目は18本の木を切り倒した。「よくやった！この調子で頼むぞ！」と親方の言葉に励まされ、明日はもっと頑張ろうと誓って男は早めに床に入った。

2日目、男は誰よりも早く起き森に向かった。ところが、その日は努力むなしく15本が精一杯だった。疲れているに違いないと考えた木こりは、日暮れと共に寝床に入った。

3日目、夜明けとともに目を覚ました男は「今日は何としても18本の記録を超えるぞ！」と自分を奮い立たせて床を出た。ところが、その日は18本どころかその半分も切り倒せず、8本…。

4日目は7本、5日目は5本、そして6日目には夕方になっても2本目の木と格闘していた。

何と言われるだろうとびくびくしながらも、木こりは親方に「これでも力の限りやっています」と正直に報告した。

親方は彼にこう尋ねた。「最後に斧を研いだのはいつだ？」

男は答えた。「斧を研ぐ？研いでいる時間はありませんでした。なんせ木を切るのに精一杯でしたから」



仕事をしながら学び、学びながら仕事をする

斧は自分の身体であり、心であり、頭でもある。磨こう！

登下校のマナー

11月から日の入りがどんどん早くなり、17:06から16:49へと暗くなる時間が早くなります。防犯のためにもできるだけ集団で帰ることが望ましいですが、その際道に広がって歩くと危ないのでマナーを守って気を付けて帰りましょう。特に期末考査前は部活動も休みとなり全校生が一気に下校します。できるだけ速やかに帰るようにしましょう。

また、話が盛り上がり帰るのが遅くならないように、真っ直ぐ家に帰るようにしましょう。防犯のためのライトなどを持ってきてもいいです。安全に登下校しましょう。

防寒具について

ウインドブレーカーについては、登下校、体育の授業などで着用可です。手袋やマフラー（ネックウォーマーも可）も華美でないものが望ましいです。登校後は下駄箱で防寒着を外し、校舎内では着用しません。

防寒具として禁止されている物

- ・制服全体を覆うような大きさのストールは不可
- ・耳当ては不可

